



# 令和2年産の 米価下落が心配です

農林水産省が公表した令和元年産米の作柄概況によると、北海道や東北の主産地において、作柄は平年を上回る見込みです。このため、**令和2年産の主食用米は、価格が下落する可能性があります！**

**来年の営農に向けて、主食用米から飼料用米、加工用米、輸出用米、園芸作物等への転換をご検討ください！**

## 主食用米と飼料用米の10a当たり収入の比較

助成金額は令和元年度の内容です。令和2年度の内容については、令和2年1月下旬頃に公表予定です。

		主食用米 (コシヒカリ等)	飼料用米 (多収品種)
収量 ※1		500kg	600kg
販売単価 (円/kg) ※2		221 円/kg	7 円/kg
販売代金		110,500	4,200
助成金 (令和元年度)	①戦略作物助成	—	92,700 ※3
	②多収品種の取組への加算	—	12,000
	③新規需要米生産性向上等の取組への加算	—	6,000
収入合計 (円)		110,500	<b>114,900</b>

※1 主食用米の収量は、ふるい目幅 1.85mm ベースでの平成 28~30 年の 3 年間の県平均値。

※2 主食用米の販売単価は、平成 28~30 年の 3 年間の相対取引価格から販売手数料を引いた額の平均値。  
飼料用米は、7 円/kg と仮定。(出荷先により異なります)

※3 茨城県の標準単収値を 524kg と仮定。収量に応じて、80,000 円から約 167 円/kg の割合で助成単価が増減。(上限・下限あり)

さらに、地域によっては市町村単位の産地交付金も加算されます

多収品種で飼料用米に取り組んだ場合、**主食用米を上回る収入**が期待できます！

さらに、収量 674kg (③の最高助成額) の場合、**収入合計は 127,718 円**となります！

# 各種助成を活用し、需要に応じた 米の生産・販売に取り組みましょう！

## 新規需要米等に取り組むメリット

### 1 経営の安定化

米価に影響される主食用米とは異なり、新規需要米等は手厚い助成を受けられるため、安定した収入確保に繋がります。

### 2 労力の分散

主食用米と熟期の異なる新規需要米等を組み合わせることで、収穫作業を分散させることができます。

### 3 需要があり、確実な販売が見込める

主食用米の需要は毎年約10万トン減少する一方で、飼料用米、輸出用米、加工用米、園芸作物等には需要があります。

## 助成を受けられる品目・取組内容

### 飼料用米の作付けに対する助成

取組内容	交付単価 (10a当たり)
①戦略作物助成 <small>※収量に応じて交付単価が変動</small>	55,000～ 105,000 円
②多収品種の取組への加算	12,000 円
③新規需要米生産性向上等の取組への加算	6,000 円以内

### 輸出用米の作付けに対する助成

取組内容	交付単価 (10a当たり)
①新市場開拓用米	20,000 円
②新規需要米生産性向上等の取組への加算	6,000 円以内

### 加工用米の作付けに対する助成

取組内容	交付単価 (10a当たり)
①戦略作物助成	20,000 円
②加工用米の複数年契約の取組への加算	6,000 円以内

### 園芸作物の作付拡大に対する助成

取組内容	交付単価 (10a当たり)
①園芸作物拡大加算	20,000 円以内

- 上記は令和元年度の助成内容です。令和2年度については、国の予算措置や国との協議により内容が変更となる場合があります。令和2年度の助成内容は、令和2年1月下旬頃に公表予定です。
- 各種取組内容の要件の詳細は、お住まいの市町村の地域農業再生協議会へお問い合わせください。